

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立田染小学校

思考力、判断力、表現力等の育成

取組の具体①

- 表現力が身につくことで伝える楽しさを感じ、学習意欲が向上・継続することに注目し、児童に伝え方の指導を行った。
- 伝えるためには知識や技能を身に付ける必要があることを理解させることで、児童が目的をもって知識や技能を身に付けることができるようにした。
- 身に付けた知識や技能を自分のものにするためには思考力や判断力が必要であることを理解させ、児童に思考や判断の仕方を指導した。
- シンキングツールの活用方法を指導することで、児童が活動の各段階でシンキングツールを効果的に用いることができるようになった。
- 身に付けた知識・技能や思考力・判断力を用いて伝える場面や教え合う場面を多く設定し、学びを振り返らせ、次回の学びにつなげることを繰り返し、フィードバックを与えることでモチベーションを保ちながら学びを継続できるようにした。



取組の具体②

- 思考力・判断力・表現力の育成にはICTの活用が効果的であると考え、活用方法を児童に指導した。
- 特にロイロノートの活用については繰り返し指導することで、児童一人一人がスキルアップにつながり、学習意欲が向上した。
- 取り組み①のシンキングツールなどを用いた学びをロイロノートに蓄積することで、いつでも学びを振り返ることができるようにした。
- 取り組み①の伝える場面や教え合う場面でもロイロノートは非常に有効に働き、自分の考えを可視化して相手に分かりやすく伝える際の一助となった。
- ミライシードは知識の定着や応用問題を解くことになれることに有効であった。データベースの活用も個人の学習の定着に有効であった。

